

第 195 回山梨大学医学会例会

日時：令和 4 年 7 月 27 日（水）午後 4 時 10 分～5 時 10 分

会場：管理棟 3 階大会議室

教授就任講演

循環器医療の最先端 ～ 21 世紀の循環器診療～

佐藤 明

山梨大学医学部循環器内科学

司会 山縣然太郎教授

【要旨】

東京医科歯科大学第二内科学講座に入局後、内科研修の後、循環器内科グループに所属しました。卒後 18 年間、横須賀共済病院をはじめとする地域基幹病院で 6,000 例を超える経皮的冠動脈再建術を第一術者として安全に行い、多くの循環器急性期診療を行ってきました。その後筑波大学に赴任後、心臓カテーテル治療件数を増加させ、心臓血管外科と連携し、経カテーテル大動脈弁留置術、僧帽弁クリップ閉鎖術、重症心不全に対する植込型補助人工心臓治療など最先端の循環器診療を導入しました。研究では、筑波大学関連病院を率いて『PCI 前向きレジストリー研究』、『心臓イメージング技術の臨床応用』を臨床テーマとして臨床研究を行いました。更に心筋分化・誘導促進因子である Vascular cell adhesion molecule (VCAM)-1 陽性心臓線維芽細胞を用いた『心不全に対する first-in-human 医師主導型臨床試験』を開始しました。

山梨大学においても、冠動脈・構造的な心疾患カテーテル治療、不整脈アブレーション治療、集学的な心不全治療など、すべての循環器分野で最先端治療ができる診療体制をとり、患者様に安心・安全の医療を提供していきます。研究においては、旧第 2 内科で行っていた虚血性心疾患に対する多施設登録研究（Fujisan Registry, 約 7,000 例登録）の経験を活かし、虚血性心疾患、心不全、不整脈の 3 領域における多施設登録研究を推進し、虚血性心疾患に留まらず、心不全、不整脈、動脈硬化などの研究を総合的に進めていく予定です。

山梨大学循環器内科の活性化を図るとともに、地域医療に貢献できる多くの若手医師を育成、地域医療の中核病院として高度な先進医療の実践及び先端医療の開発を推進し、山梨県医療の向上に尽力したいと思います。